

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構の評価に関する評価軸等について（案）

赤字が修正部分

項目	評価軸	備考（関連する評価指標、モニタリング指標等）
<項目別>		
4. 原子力の基礎基盤研究と人材育成 (2) 高温ガス炉とこれによる熱利用技術の研究開発	● 高温ガス炉とこれによる熱利用技術についての成果が、海外の技術開発状況に照らし十分意義のあるものか、さらに将来の実用化の可能性等の判断に資するものであるか。	<p>【定性的観点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ HTTR の運転再開に向けた取組状況（評価指標） ・ 将来の実用化に向けた産業界等との連携の状況（評価指標） ・ HTTR を用いた試験の進捗状況（評価指標） ・ IS プロセス の連続水素製造試験の進捗状況（評価指標） ・ 国の方針等への対応状況（評価指標） ・ 海外の技術開発状況に照らした、安全性確認試験や連続水素製造試験の結果の評価（モニタリング指標） ・ 人材育成への取組（モニタリング指標） <p>【定量的観点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 安全基準作成の達成度（評価指標） ・ HTTR 接続試験に向けたシステム設計、安全評価、施設の建設を含むプロジェクト全体の進捗率（評価指標）
5. 高速炉・新型炉の研究開発	<p>● 運転管理体制の強化等安全を最優先とした取組を行っているか。</p> <p>● 人材育成のための取組が十分であるか。</p>	<p>【定性的観点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人的災害、事故・トラブル等の未然防止の取組状況（評価指標） ・ 品質保証活動、安全文化醸成活動、法令等の遵守活動等の実施状況（評価指標） ・ トラブル発生時の復旧までの対応状況（評価指標） ・ 運転・保守管理技術の蓄積及び伝承状況（モニタリング指標） <p>【定量的観点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人的災害、事故・トラブル等発生件数（モニタリング指標） ・ 保安検査等における指摘件数（モニタリング指標） <p>【定性的観点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「もんじゅ」等での技術伝承、運転・保守管理技術の高度化等に係る 人材育成の取組状況（評価指標）
(1) 「もんじゅ」廃止措置に向けた取組	● 廃止措置に向けた取組・成果が適切であったか	<p>【定性的観点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 廃止措置に向けた取組の状況（評価指標）
(2) 高温ガス炉とこれによる熱利用技術の研究開発	● 高温ガス炉とこれによる熱利用技術についての成果が、海外の技術開発状況に照らし十分意義のあるものか、さらに将来の実用化の可能性等の判断に資するものであるか。	<p>【定性的観点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ HTTR の運転再開に向けた取組状況（評価指標） ・ 将来の実用化に向けた産業界等との連携の状況（評価指標） ・ HTTR を用いた試験の進捗状況（評価指標）

		<ul style="list-style-type: none"> ・ IS プロセスの連続水素製造試験の進捗状況（評価指標） ・ 国の方針等への対応状況（評価指標） ・ 海外の技術開発状況に照らした、安全性確認試験や連続水素製造試験の結果の評価（モニタリング指標） ・ 人材育成への取組（モニタリング指標） <p>【定量的観点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 安全基準作成の達成度（評価指標） ・ HTTR 接続試験に向けたシステム設計、安全評価、施設の建設を含むプロジェクト全体の進捗率（評価指標）
<p>7. 敦賀地区の原子力施設の廃止措置実証のための活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●安全を最優先とした取組を行っているか。 ●人材育成のための取組が十分であるか。 ●廃止措置に向けた取組・成果が適切であったか ●原子力施設の先駆的な廃止措置及び放射性廃棄物の処理処分の計画的遂行と技術開発を推進し、課題解決につながる成果が得られているか 	<p>【定性的観点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人的災害、事故・トラブル等の未然防止の取組状況（評価指標） ・ 品質保証活動、安全文化醸成活動、法令等の遵守活動等の実施状況（評価指標） ・ トラブル発生時の復旧までの対応状況（評価指標） ・ 保守管理等技術の蓄積及び伝承状況（モニタリング指標） <p>【定量的観点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人的災害、事故・トラブル等発生件数（モニタリング指標） ・ 保安検査等における指摘件数（モニタリング指標） <p>【定性的観点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人材育成の取組状況（評価指標） <p>【定性的観点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 廃止措置に向けた取組の状況（評価指標） <p>【定性的観点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 廃止措置及び処理処分に係る先駆的な技術開発成果の創出状況（評価指標） ・ クリアランスの進捗状況（評価指標） ・ 廃止措置のコスト低減への貢献（モニタリング指標）

※ 「評価指標」とは、評価・評定の基準として取り扱う指標であり、「モニタリング指標」とは、正確な事実を把握し適正・厳正な評価に資するために必要な指標である。実際の運用にあたっては、評価項目に応じて適切な指標を柔軟に選択・設定する。